

世羅町立甲山小学校不祥事根絶のための取組

1 不祥事根絶のための行動計画

本校の課題	行動目標	取組内容
① 服務研修の内容が通知等を伝達するだけに終わっている。	○ 服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施したり、人格を磨き指導力を高めることにつながる研修等を取り入れることによって、職員にとって効果が実感できるようにする。	○ 職員を対象としたアンケート調査を行い、方法や内容等の改善を図る。 ○ 職員の人権感覚を高める研修や子どもの権利を守る意識を高める研修などを取り入れて取り組む。
② 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初だけに終わっている。	○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を学期ごとに行い、相談体制を円滑化する。	○ 学校だより等で保護者に周知するとともに、校舎全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○ 学期毎の学級懇談会において、相談窓口の案内プリントを配布し、保護者から体罰、セクシュアルハラスメントについて聴取する。
③ 不祥事防止に関する原因論だけを取り上げ、不祥事を起こさせない環境論に目を向けていなかった。	○ 人間を大切にする職場、教育の場、危機管理ができる職場などをめざして不祥事が生まれにくい、許さない職場づくりに努める。	○ 月に1回、曜日を決めて職員室や個人の机、戸棚等の整理整頓を行う。職員が分担して、学校全体の掲示物を点検する。 ○ 月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。
④ 学校全体での報告・連絡・相談がきめ細かくできていないことで教育活動に支障をきたすことがあった。	○ 組織で仕事を進めることができるように、情報は全体で共有し取り組む。	○ 企画委員会での決定事項は、各主任がそれぞれの学年にきちんと伝える。 ○ 職員はお互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。

2 取組内容の点検方法・時期

① について

- 職員の人権意識を高める研修や子どもの権利を守る意識を高める研修については、企画委員会で内容を検討し、「不祥事防止年間指導計画」に取り入れるとともに、研修を実施する。

②について

- 学期ごとに児童，保護者及び本校職員を対象にしたアンケートを実施し，状況を把握して取組に生かす。
- 学期末懇談会における保護者からの聴取について記録し，学校全体で共有化する。

③について

- 月に1回，企画委員会で職員室の環境や学校全体の掲示物の状況について点検し，状況把握をするとともに改善すべき点はすぐに取り組む。
- 企画委員会や個人面接を通して，職員間のコミュニケーションが十分に行われているか状況把握し，気付いた点についてはすぐに取り組む。

④について

- 週に1回，企画委員会での決定事項が全体に伝達されているか，各主任に確認し組織化に向けて取り組む。
- 定期的に校長，教頭，教務主任が，特定の職員に負担がかかっているか点検し，仕事が分担できるように改善する。

3 本校が求める教職員像

☆社会人として高い倫理観と豊かな人間性を身に付け，児童のために全力で職務を遂行する教職員

☆子どもたちを「預かり，守り，育む」という教育的愛情と教育に対する使命感をもって職務に専念する教職員

☆県民や保護者からの信頼と信託を受けていることを強く自覚し，信頼される学校づくりに努める教職員

4 本校の決意表明

本校から不祥事を出さないために，次のことを決意表明します。

私たち，甲山小学校教職員は，

- ① 「子どもを守り，育てる」という教育に対する使命感を持ちます。
- ② 法令等を遵守し，保護者の信頼に応える教育活動を進めます。
- ③ よりよいコミュニケーションに努め，不祥事が生まれない職場づくりに努めます。